

# 令和7年度 立川市立立川第九中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標		共生を目指して ○やさしく     ～互いに人格を尊重し、協力する人になろう～ ○かしこく     ～自ら求め自ら学び、道を切りひらく人になろう～ ○たくましく    ～心身ともに健やかで、責任感のある人になろう～
生徒に育成を目指す資質・能力		教科や学年全体に共通する取組
・自分の考えや見通しをもって粘り強く学習に取り組む力 ・他者と交流する学習活動を通して自分の考えを広げ深める力 ・自分の学びを振り返り、身に付けたことや課題を次の学びや生活に生かす力		・授業の目標と展開の提示、振り返りの確実な実施を通した学習内容の焦点化 ・ＩＣＴ機器、Chromebook を活用した授業の実践 ・全国学力学習状況調査や定期考査、授業アンケート結果等を踏まえて指導方法の改善
教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	○授業で習得した知識等を日ごろの生活や作文、話し合い活動に生かす力 ○思考力や想像力を自ら養い、社会生活における人との関わりの中での伝え合う力を高めていこうとする態度	・日本語の特徴を理解して適切に活用するために、漢字や文法・語句の学習を繰り返し行う。また積極的に身に付けた知識を使用するように、日ごろの授業から声掛けや確認をしていく。 ・互いの立場や考えを尊重しながら、友達の意見を正確に理解したり、自分の考えを適切に表現したりする話し合い活動やスピーチ等を、Chromebook を活用しながら行う。 ・観点を設定した説明文・物語文の読み取りを通して、論理的に考える力や豊かに想像する力を養う。
社会	○グローバル化する社会でより高まる国際競争の中、自立し、生き抜いていく力 ○世界の人々の営みに共感し、各国の人々と共によりよい未来を創造する力 ○政治的判断を冷静に行うことのできる思考・判断力	・地理・歴史・公民分野において、それぞれテーマ設定をし、Chromebook を用いて調べ、考え、発表し、聞き合う活動を行い、視野を広げられるようにする。 ・クラス内討論や授業の振り返りを繰り返し、歴史的事象、地域的特色、国際情勢、政治、経済、人権などの現代の課題を考察し、思考すること、思考、判断力を培う。
数学	○身の回りの問題を数学的に考え、課題解決に活用する力 ○課題解決に見通しをもって取り組み、それを数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に説明する力 ○話し合い活動を通して多面的・多角的な考え方に触れ、互いの考えを認め合うことができる力	・身近な問題や生徒自らが興味をもった問題等を題材として扱い、それを数学的に解決する方法を考えさせる活動に取り組めるようにする。 ・話し合い活動を通して課題解決方法を考える時間を確保する。 ・考えを説明・発表する活動を通して、相互評価等により振り返りを行い、他者の意見を認め合う機会を設定する。
理科	○自然の事物・現象に対する興味・関心を高め、科学的に探究し、それを表現する能力 ○観察や実験を意欲的に取り組み、結果から仮説の検証と考察をする力 ○実験の内容をまとめ、説明するプレゼンテーション能力	・実際に自然現象に触れ、観察することで、科学に対する興味・関心を高める。 ・興味関心を抱く疑問を提示し、班で話し合い、ときには実験などで検証することで、科学を探究する態度を養う。 ・Chromebook を用いて、観察や記録をし、班で振り返ったり、レポートの発表を行ったりして、理解を深めるなど、自主的に学ぶ態度を養う。
音楽	○音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動の軸となる、自分の考えや見通しをもって学習目標に取り組む態度 ○表現する喜びや楽しさを味わい、生涯を通じて音楽を愛好する心情	・ワーク、プリント、ＩＣＴを活用し、生徒が思いや意図を適切に表現するために、音楽を形づくっている要素を知覚させ、感受との関わりを考えられるようにする。 ・発表の場で、友達の意見を受容的に受けとめ、様々な考えに触れること、また他者の意見を認めることができるよう指導する。 ・ＩＣＴ機器を活用し自ら調べる学習に取り組ませ、「個別最適な学び」の充実を図る。
美術	○豊かに発想する力と材料や題材の特徴を生かした表現力 ○様々な美術作品の鑑賞を通して、見方や感じ方を深め、自身の制作に生かせる表現や技法を習得する力	・確実な技能の習得を目指した技能習得の個別指導の充実と、発想を広げることができるよう授業内の生徒との対話や意見交換を工夫する。 ・作品制作と鑑賞の内容に関連性をもたせることで、自身の作品作りに生かせる視点に気付かせ、既習内容やＩＣＴ機器を活用した授業を行う。
保健体育	○運動における競争や教え合う学習を通して、仲間との立場や考え方の違いを認識し、自他を認め合う態度 ○協働的な学びや公平・公正に取り組む中で、互いに協力し、自己の責任を果たす態度 ○健康・安全について運動や自身の生活と関連付けながら知識や技能を身に付け、生活の質の向上を図ることのできる実践力	・ＩＣＴ機器を活用して、よい動きの理解や自己の課題の把握、改善に向け自分の考えを相手に伝えることができるよう指導する。 ・協働的な学びの機会を設定し、自己や仲間の課題解決に向けて取り組む中でチームや学習活動でのそれぞれの役割に取り組ませる。 ・学習カードを活用して基本的な知識を習得し、その既習した内容を基に日常生活との関わりについて考えられるようにする。
技術家庭	○学校や家庭、社会の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力 ○見方・考え方をもとに生活や社会の問題に主体的に関わり合うとする態度	・自分の考えをもって粘り強く学習に取り組む意欲を高めるとともに、生徒自らが生活や社会の問題に対して関わろうとする態度を育てるために、社会的な問題を例示して、問題意識をもって解決に取り組めるようにする。 ・授業への積極的な参加を促すために、「九中スタンダード」を活用し、授業のねらいや目標、計画を提示して、授業に見通しをもてるようにする。
外国語	○「使える英語力」を駆使し、自分の意見を伝え議論することで新たな考えを生み出す力 ○生徒が「自分で考え、自分から取り組んでいる」「話し合い等の活動で、自分の考えを深めたり、広げたりする」能力	・教科書の題材について、自分の考えを書いたり、発表したりすることを通して、英語で表現する場面を設定する。また、日ごろ学習して身に付けた英語表現をTokyo Global Gateway で発揮できるようにする。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、各単元で個別最適な学習をする場面と、協働的に学習する場面を１時間以上は設定する。